

開票事務 改革のポイント

開票時間短縮に取り組むことで期待できる効果

1. 住民に速やかに結果を知らすことができる
2. 経費節減につながる
3. 職員の負担軽減につながる
4. 職員の意識に変化が起こる

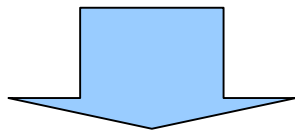
2010年8月8日 長野県知事選挙

小諸市 17分

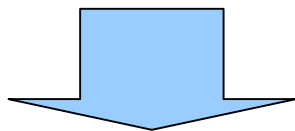
選挙年月日	2002年9月1日	2006年8月6日	2010年8月8日
立候補者数	4名	2名	3名
当日有権者数	35,297人	35,428人	35,188人
投票者数	23,861人	21,346人	17,030人
投票率	67.60%	60.25%	48.40%
開票事務従事者数	150人	118人	96人
開票所要時間	71分	34分	17分
執行経費決算額	1,251,400円	719,400円	未定
職員1人につき1分間に捌いた票数	2.24枚/分	5.32枚/分	10.43枚/分
職員1人が1票捌くのに要した時間	26.9秒/票	11.3秒/票	5.7秒/票

区分	項目	過去の選挙での実施の有無	有効性について				
			非常に有効である	有効である	市区町により有効の場合もある	必ずしも有効と思わない	有効と思うが当市区町では実施困難
事前準備	終了時間の目標の設定	21	5	21	1	3	
	全体マニュアルの作成	27	8	22			
	班長会議等の責任者会議の開催	20	7	20	2	1	
	開票作業のシミュレーションの実施	12	8	9	5		8
	冷房等の良好な作業環境の整備	19	3	20		1	6
	首長による激励・改善指示等	4	2	8	9	9	2
	事務従事者全員のタイムスケジュールの作成	9	5	12	4	7	2
	担当者会議の開催	19	8	16	2	2	2
	十分なスペースのある会場の確保	24	6	21	1		2
	台のかさ上げ	24	9	20	1		
	適度な大きさの開披台の確保	26	4	24	1	1	
	色つきテーブルクロスの使用	20	3	22	4	1	
	投票所において投票用紙を配布する際、指にすべり止めを塗らないこと	19	1	18	3	7	
	迅速化のためのプロジェクトチームの編成	2	5	13	6	1	5
開披・点検・計数の台の連結(※1)	3	1	5	9	15		

多数の選管で開票事務迅速化への取組はされている



形だけの見直しは出来た

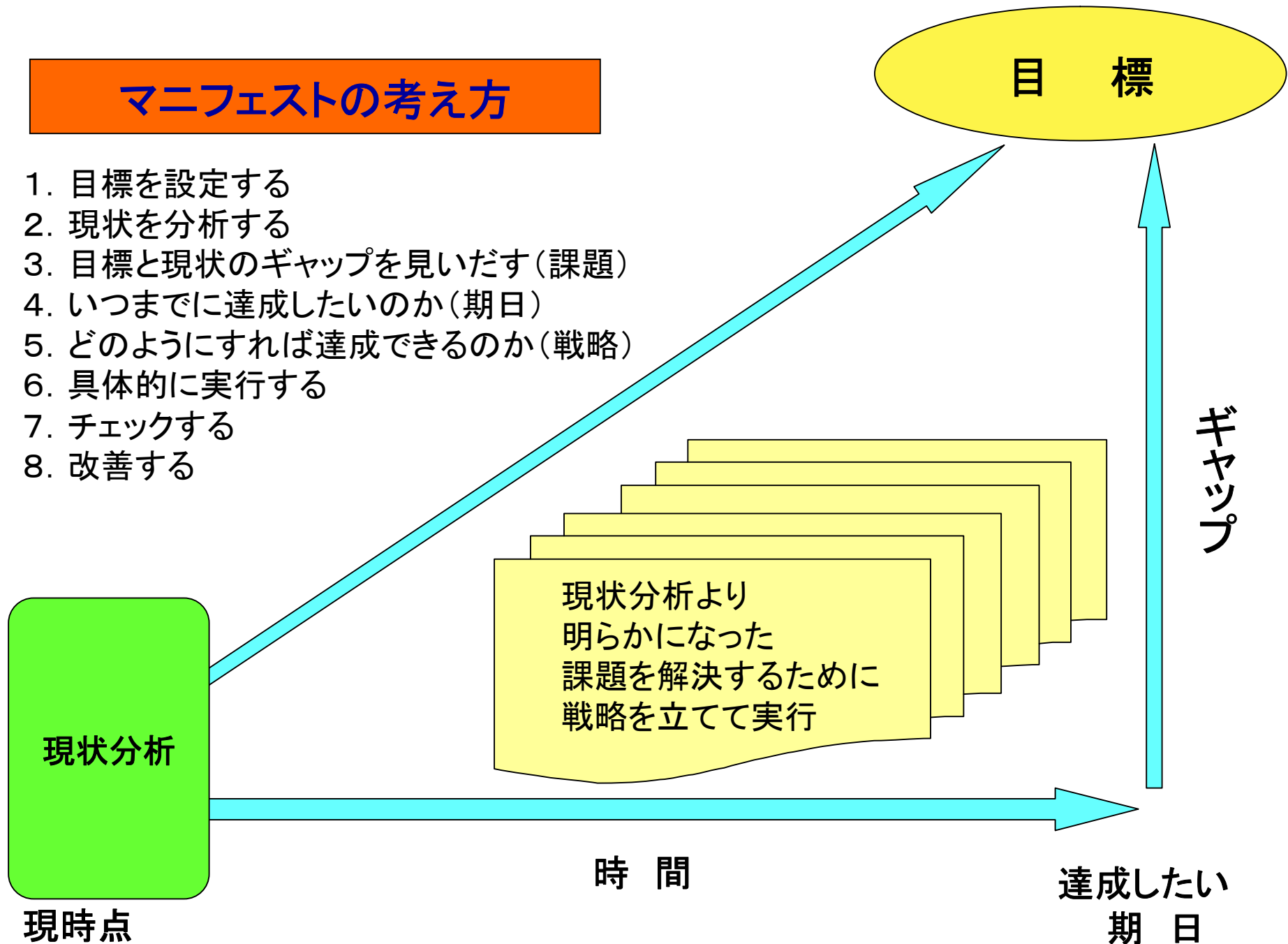


前回比で若干の改善は図られている

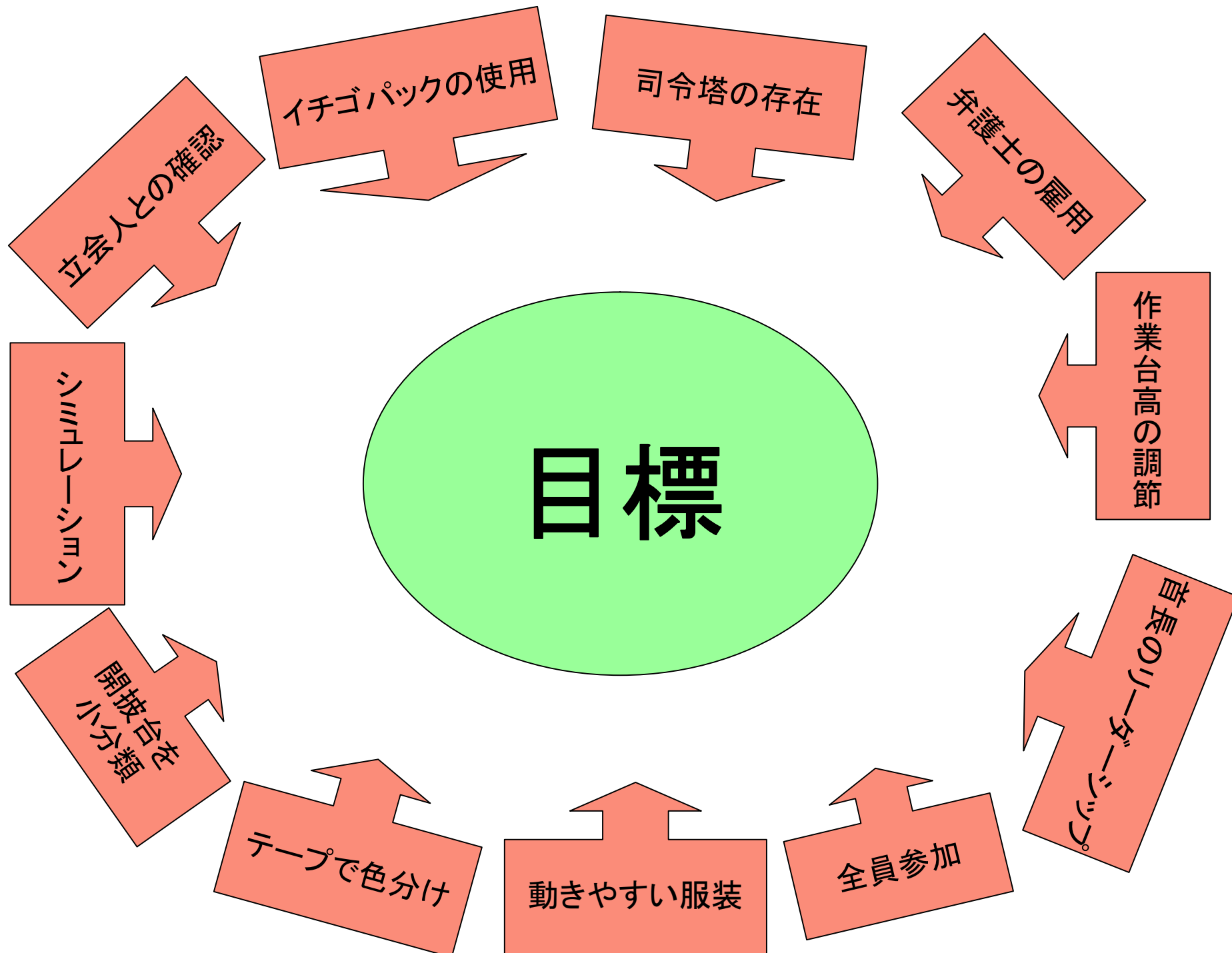
小諸市と何所が違うのか？

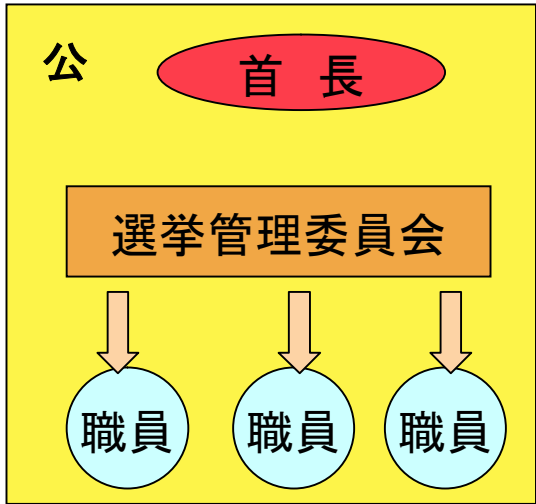
マニフェストの考え方

1. 目標を設定する
2. 現状を分析する
3. 目標と現状のギャップを見いだす(課題)
4. いつまでに達成したいのか(期日)
5. どのようにすれば達成できるのか(戦略)
6. 具体的に実行する
7. チェックする
8. 改善する

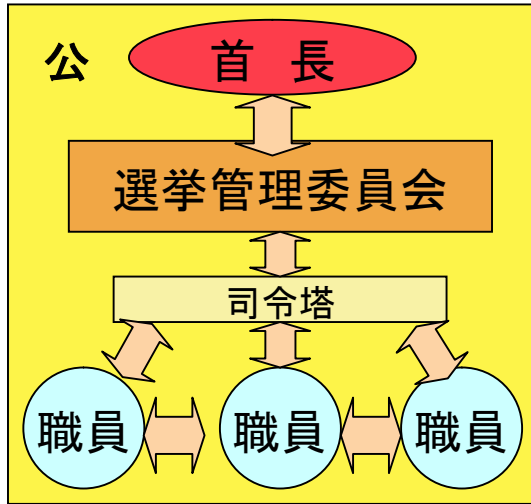
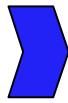


目標





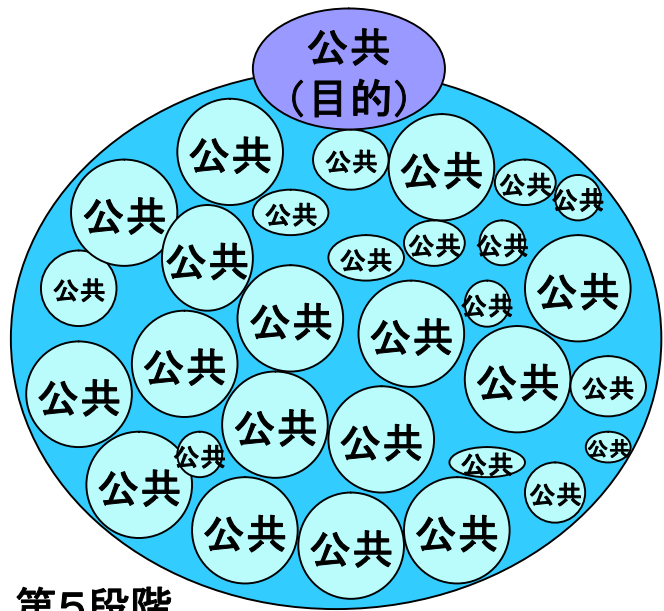
第1段階



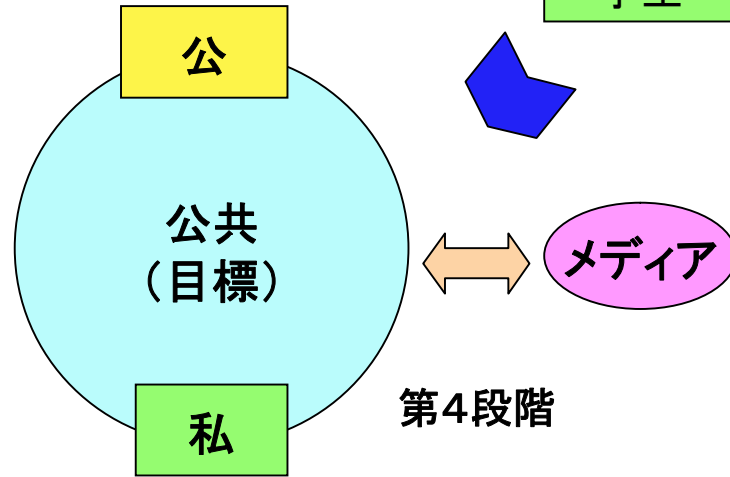
第2段階



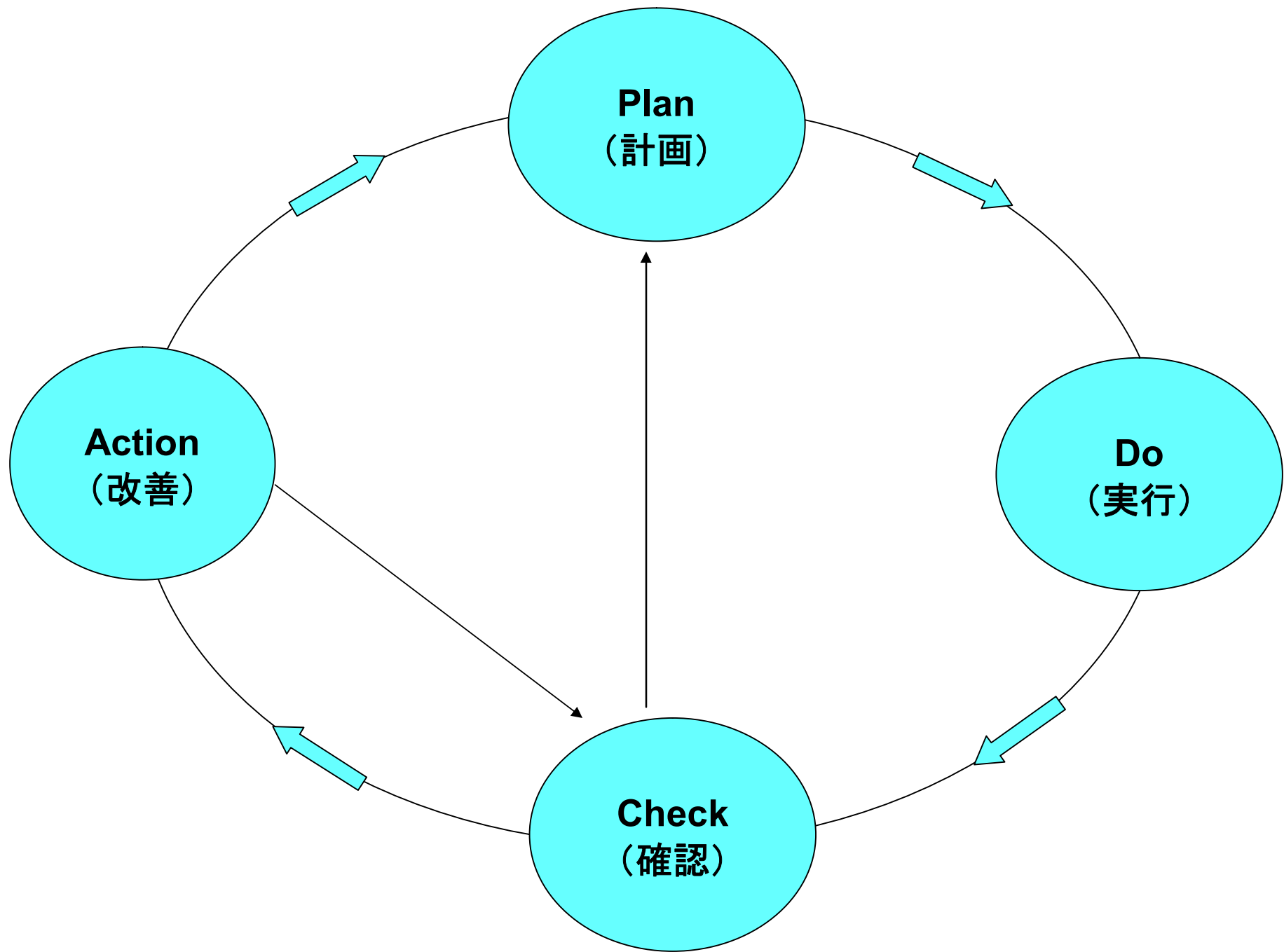
第3段階



第5段階

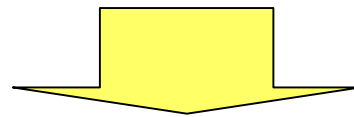


第4段階



成功のキーワード

スペックの見直しだけではなく
体質そのものの作り直し

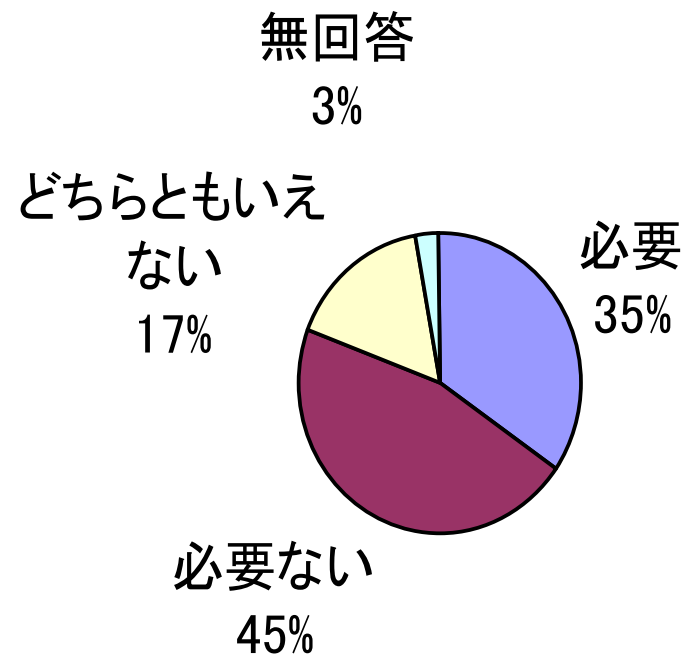


目標達成型の開票事務へ

2011年統一選への挑戦！

中間発表の廃止！

事前アンケートより Q: 中間発表は必要かどうか？



中間発表は不要 : 事前アンケートより

- ・法的根拠がない。中間発表にかかる手間の分を、開票作業に注力したい。
- ・報道機関等が「知る権利」と称し、「協力」という名の圧力をかけてくるためやむなく応じている。
- ・中間発表では出来るだけ得票数に差が生じないよう票の流れを調整しているが、その分、時間を要するため必要無い。
- ・数時間後には結果が確定するにも係わらず、中間発表を行う効果が不明。
中間発表をするための、諸作業の発生(帳票類の作成・配付等)、開票作業の一部中断、開票作業の調整などをする場合もあり、事務の合理化、迅速化への支障も大きい。

中間発表は必要 : 事前アンケートより

- ・開票作業を適正に行っていることを周知する。また、有権者が応援する候補者の当落を判断する材料とするため。
- ・得票数の確認と候補者・選挙人への正確な情報提供のためには必要。
立会人による票の点検は、随時点検方式をとっており、中間発表に合わせ、点検する票の入れ替えを行っているため、その区切りとしても必要である。
- ・不要だと思うが、マスコミ報道のためには必要。
- ・開票が短時間で終了できるなら不要だが、参観人や関係者がいる中で、時間がかかった場合、中間発表をせずに開票をやり続けるのは難しい。

【従来の選管の姿】

「管理型」



【あるべき選管の姿】

「目標達成型」

- 選挙を公平公正に執行する
- 選挙を効率的に執行する
- 有権者の政治意識を高める

- 民主主義を創造する役割
- 地域主権の中心的な担い手の役割